

## 「恵みの【主】に 응답できていますか？」 イザヤ書 43 章 22-28 節 レジメ

### 序論

- 教会に来るのが面倒に感じることもあるか？
  - 礼拝に対する義務感の経験談
  - 自身の牧師家庭での経験と礼拝の義務感:
    - 牧師家庭で育ち、教会が日常の一部
    - 忙しい時や友達が遊んでいる時の礼拝の億劫さ

### 背景と文脈

- イスラエルへの多くの恵み:
  - 選びの民: 神の民として選ばれたこと
  - 出エジプト: 救いの経験
  - 律法の提供: 神の民としての生き方のガイドライン
  - 神からの助け: 御言葉と実際的な助け
- 43 章のポイント:
  - イスラエルに対する【主】の一方向的な愛
  - イエス・キリストによる永遠の命の水の約束

### 1) 【主】を求めないイスラエル

- イザヤ書 43:22:
  - 「あなたはわたしのことで疲れ果てた」: 礼拝を重荷としたイスラエル
- 礼拝の形式化:
  - 23 節、24 節:
    - 全焼のいけにえや穀物のささげ物、乳香、菖蒲の使い方
    - 汚れた生贄や混ぜものをした香りの捧げ物
  - 不誠実な礼拝:
    - 神への感謝や崇める思いの欠如
    - 罪の赦しだけを求める自己中心的な礼拝

### 2) 赦しの宣言

- イザヤ書 43:25:
  - 「あなたの背きの罪をぬぐい去り、もうあなたの罪を思い出さない」
  - 赦しの理由: 【主】ご自身のため
- 前の文脈との切り離し:
  - 正しい礼拝を捧げないイスラエルにもかかわらず、一方的に赦される
  - 【主】は赦しの性質を持っておられる
- 新約聖書の証言:
  - ローマ人への手紙 5:6-8:
    - キリストの死による赦し
  - ローマ人への手紙 5:5:
    - 聖霊によって心に注がれる神の愛

### 3) 本来、受けるべき裁き

- イザヤ書 43:26-28:

- 「わたしに思い出させよ。ともにさばきに向かおう」:裁きの宣言
- 赦しがないければどうなるか:
  - 神が罪を思い出された場合の裁きの厳しさ
- 罪の普遍性:
  - 最初の先祖（アダム）の罪、仲保者（預言者・祭司）の背き
- 裁きの結果:
  - イスラエルの裁きの判決:
    - 「聖所のつかさたちを汚し」 聖職者が汚れた者とみなされる
    - 「ヤコブが聖絶される」 幼子にいたるまで滅ぼし尽くされる
    - 「ののしられる」 【主】から軽んじられる

### 結論

- ローマ人への手紙 12:1:

- 「あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい」
- 人生全体を神に聖別して捧げる:
  - 神の御心を実行する
  - 【主】の証人として宣べ伝える
  - 自分の時間や力を捧げる

### 実践のポイント

1. 礼拝のための時間と体の聖別:

- 日曜日の主日礼拝を聖別する
- 時間と体、心を整え【主】に捧げる

2. 日常生活における献身:

- 仕事、家庭生活、学校での学びを通して神の栄光を現す
- 自分の生き方そのものを捧げる

### 最後に

- 【主】の赦しと恵みに対する応答:

- 心からの礼拝と献身を捧げる
- 神の愛と赦しを信じ、応答する者となる